

12 センターサイディング NS型ネオスパン(イソシアヌレート品)補強工法

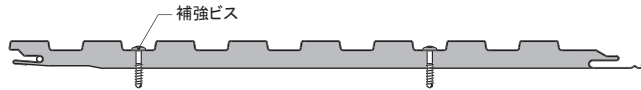
金属胴縁にセンターサイディングNS型ネオスパン(イソシアヌレート品)を施工する際の、補強ビスでの補強工法についてご案内しております。

12 センターサイディング補強工法

12-1 NS型ネオスパン(イソシアレート品)16m超え、30m以下の物件への施工 改訂のご案内

本ページ(P265)は、一部改訂のため、次ページ(P265-1)に更新しております。
最新的设计施工資料を閲覧される際は、次ページをご確認ください。

- 地域 : 全国(ALCは地域限定※1)
- 構造 : MARCシステム(RC造、ALC(挿入筋構法・ロッキング構法))
- 建物高さ : 30m以下 基準風速に応じた施工可否については下表を参照
- 外装材 : NS型ネオスパン(芯材:イソシアレートフォーム(HFO))限定
- 通気胴縁: 金属胴縁15
- 補強ビス : $\Phi 4.5\text{mm} \times 25\text{mm}$ (JK1780**)



補強ビス留付指定位置
補強ビスの留付位置は必ず遵守ください。

表 施工の可否及び補強ビスの必要有無

地表面粗度区分Ⅲ						
建物高さ (m)	基準風速 V0 (m/s)					
	30	32	34	36	38	40
	札幌市 水戸市 静岡市 姫路市 など	東京23区 名古屋市 大阪市 福岡市 など	千葉市 徳島市 宮崎市 など	木更津市 高知市 鹿児島市 など	室戸市 枕崎市 指宿市 など	
30超	施工不可					
30	1162	1322	1493	1674	1865	2066
29	1147	1305	1473	1651	1840	2038
28	1131	1286	1452	1628	1814	2010
27	1114	1268	1431	1604	1788	1981
26	1098	1249	1410	1580	1761	1951
25	1080	1229	1388	1556	1734	1921
24	1063	1209	1365	1531	1705	1890
23	1045	1189	1342	1505	1677	1858
22	1027	1168	1319	1478	1647	1825
21	1008	1147	1294	1451	1617	1791
20	988	1124	1269	1423	1585	1757
19	968	1102	1244	1394	1553	1721
18	947	1078	1217	1364	1520	1684
17	926	1054	1189	1333	1486	1646
16	904	1028	1161	1301	1450	1607
15	881	1002	1131	1268	1413	1566
14	857	975	1101	1234	1375	1523
13	832	946	1068	1198	1335	1479

一般工法
 補強工法
 施工不可

※1 北海道、青森県、岩手県、秋田県、沖縄県および平成28年省エネ基準の1・2・3地域を除く地域。

12 センターサイディング補強工法

外壁リフォームの設計

事前調査の方法

RC造
金属・木胴縁工法

RC造外断熱
金属胴縁工法

RC造
専用ブラケット工法

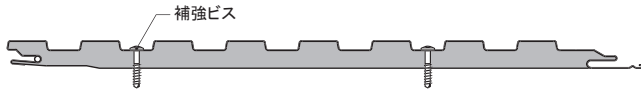
S造(ALC)
金属・木胴縁工法

RCタイル外壁への
リフォーム工法

NS型ネオスパン
補強工法

12-1 NS型ネオスパン(イソシアレート品)16m超え、30m以下の物件への施工

- 地域 : 全国(ALCは地域限定※1)
- 構造 : MARCシステム(RC造、ALC(挿入筋構法・ロッキング構法))
- 建物高さ : 30m以下 基準風速に応じた施工可否については下表を参照
- 外装材 : NS型ネオスパン(芯材:イソシアレートフォーム(HFO))限定
- 通気胴縁:金属胴縁15
- 補強ビス : $\Phi 4.5\text{mm} \times 25\text{mm}$ (JK1780**)



補強ビスの基本留付位置

表 施工の可否及び補強ビスの必要有無

地表面粗度区分Ⅲ						
建物高さ (m)	基準風速 V0 (m/s)					
	30	32	34	36	38	40
	札幌市 水戸市 静岡市 姫路市 など	東京23区 名古屋市 大阪市 福岡市 など	千葉市 徳島市 宮崎市 など	木更津市 高知市 鹿児島市 など	室戸市 枕崎市 指宿市 など	
30超	施工不可					
30	1162	1322	1493	1674	1865	2066
29	1147	1305	1473	1651	1840	2038
28	1131	1286	1452	1628	1814	2010
27	1114	1268	1431	1604	1788	1981
26	1098	1249	1410	1580	1761	1951
25	1080	1229	1388	1556	1734	1921
24	1063	1209	1365	1531	1705	1890
23	1045	1189	1342	1505	1677	1858
22	1027	1168	1319	1478	1647	1825
21	1008	1147	1294	1451	1617	1791
20	988	1124	1269	1423	1585	1757
19	968	1102	1244	1394	1553	1721
18	947	1078	1217	1364	1520	1684
17	926	1054	1189	1333	1486	1646
16	904	1028	1161	1301	1450	1607
15	881	1002	1131	1268	1413	1566
14	857	975	1101	1234	1375	1523
13	832	946	1068	1198	1335	1479

一般工法
 補強工法
 施工不可

※1 北海道、青森県、岩手県、秋田県、沖縄県および平成28年省エネ基準の1・2・3地域を除く地域。

NS型ネオスパン
(イソシアレート品)

下地・工法
RC造
金属胴縁工法

留付方法
ビス

張り方向
横・縦

胴縁組
606mm以下

1) 基本構成図 改訂のご案内

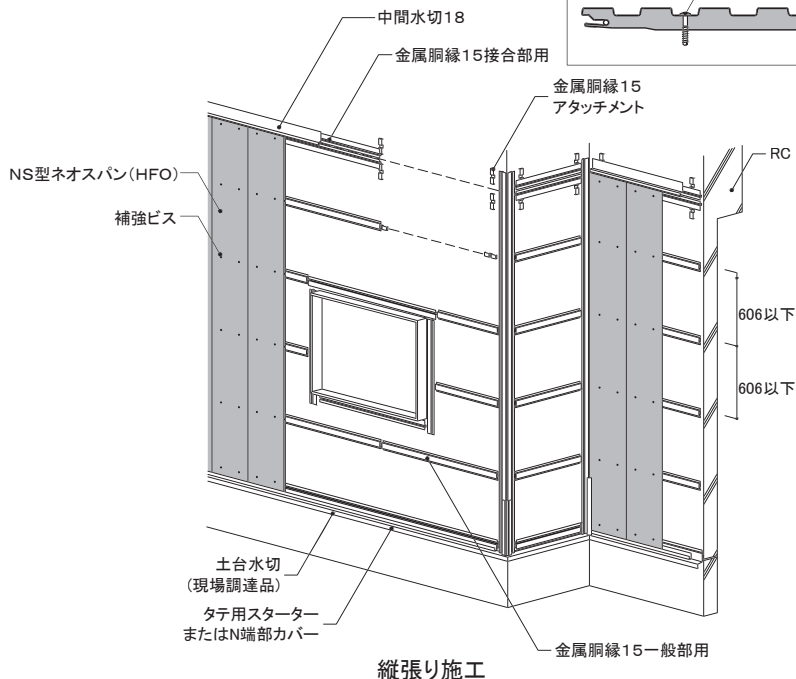
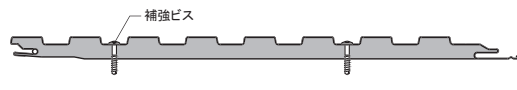
本ページ(P266)は、一部改訂のため、次ページ(P266-1)に更新しております。
最新の設計施工資料を閲覧される際は、次ページをご確認ください。

16mを超え、30m以下の物件への施工(※)は、

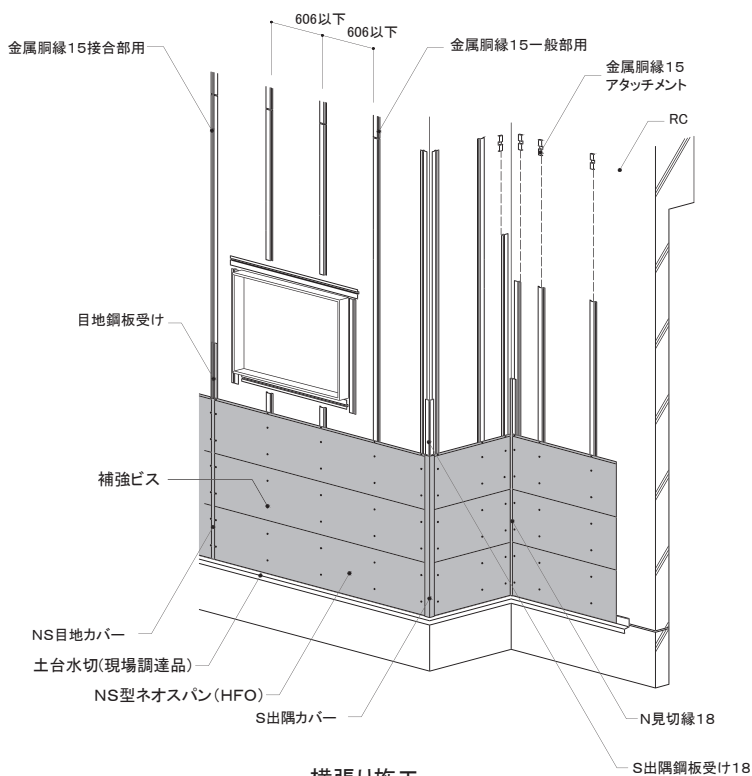
- 金属胴縁ごとに、嵌合部以外に表面から補強ビスを2本留め付けます。ビス留め位置は下図の通りです。
始めから張り終わりまで全て補強ビスを施工してください。

※建設地の基準風速によっては16m以下でも補強ビスが必要になります。P265の対応表をご確認ください。

補強ビス留付指定位置 ビス留めの位置は必ず遵守ください。



縦張り施工



横張り施工

NS型ネオスパン (イソシアレート品)	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC造 金属胴縁工法	ビス	横・縦	606mm以下

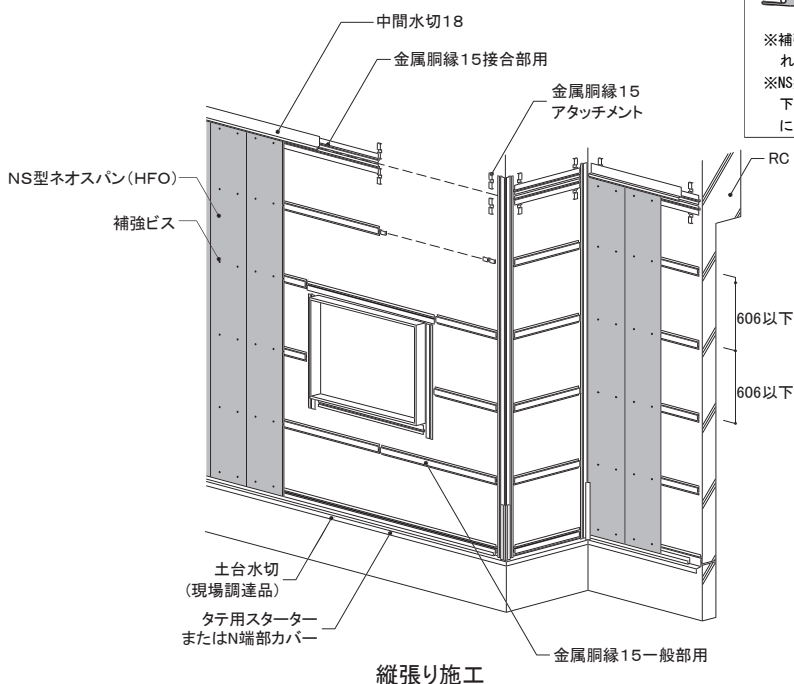
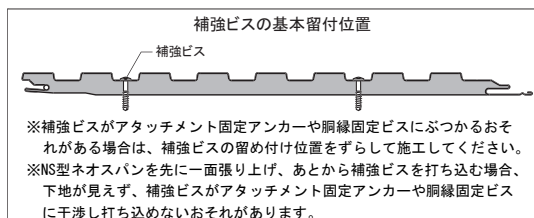
1) 基本構成図

16mを超え、30m以下の物件への施工(※)は、

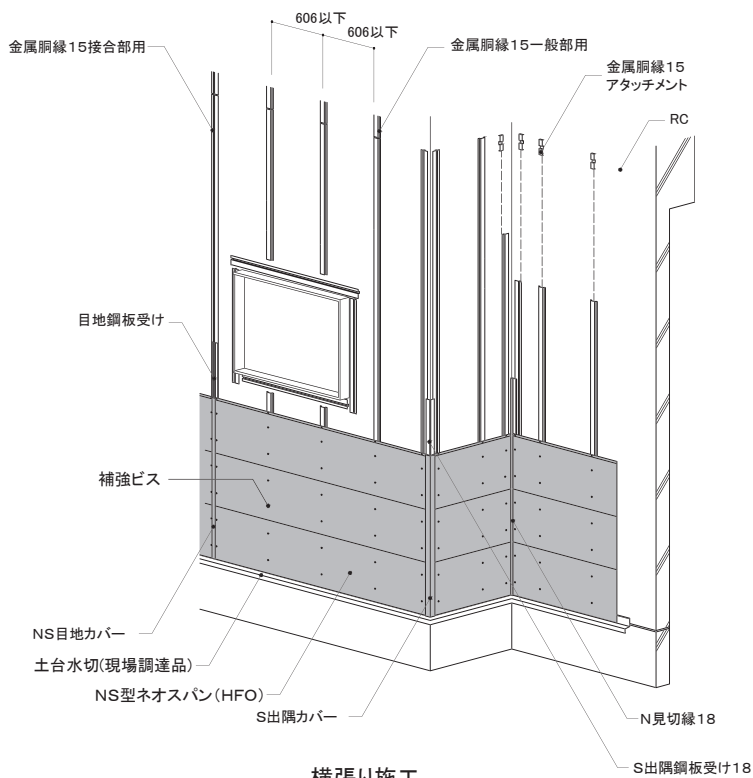
- NS型ネオスパンは一枚ずつ、下地を確認しながら補強ビスまで施工してください。
- 金属胴縁ごとに、嵌合部以外に表面から補強ビスを2本留め付けます。ビス留め位置は下図の通りです。

始めから張り終わりまで全て補強ビスを施工してください。

※建設地の基準風速によっては16m以下でも補強ビスが必要になります。P265の対応表をご確認ください。



縦張り施工



横張り施工

外壁リフォームの設計

事前調査の方法

RC造
金属・木胴縁工法

RC造外断熱
金属胴縁工法

RC造
専用ブラケット工法

S造(ALC)
金属・木胴縁工法

RCタイル外壁への
リフォーム工法

NS型ネオスパン
補強工法

NS型ネオスパン (イソシアレート品)	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC造外断熱 金属胴縁工法	ビス	横・縦	600mm以下

1) 基本構成図 改訂のご案内

本ページ(P267)は、一部改訂のため、次ページ(P267-1)に更新しております。
最新の設計施工資料を閲覧される際は、次ページをご確認ください。

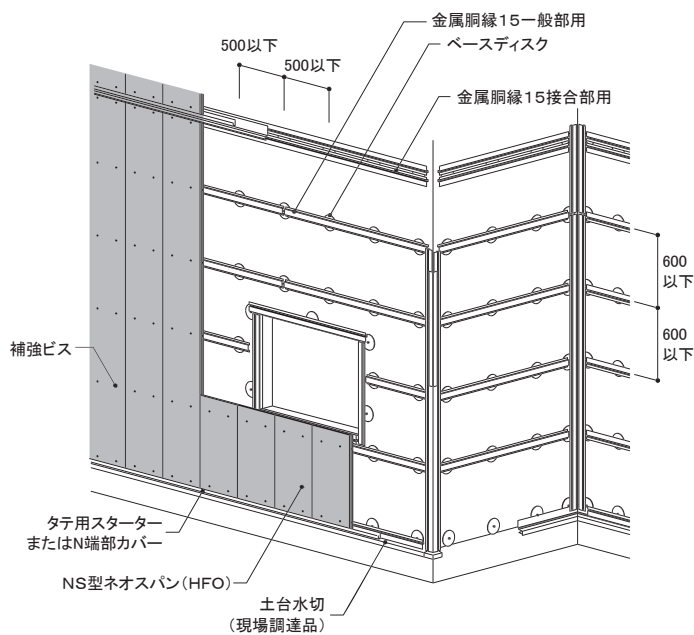
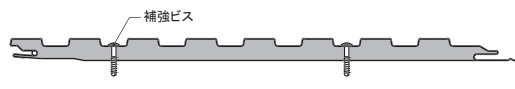
16mを超え、30m以下の物件への施工(※)は、

●金属胴縁ごとに、嵌合部以外に表面から補強ビスを2本留め付けます。ビス留め位置は下図の通りです。

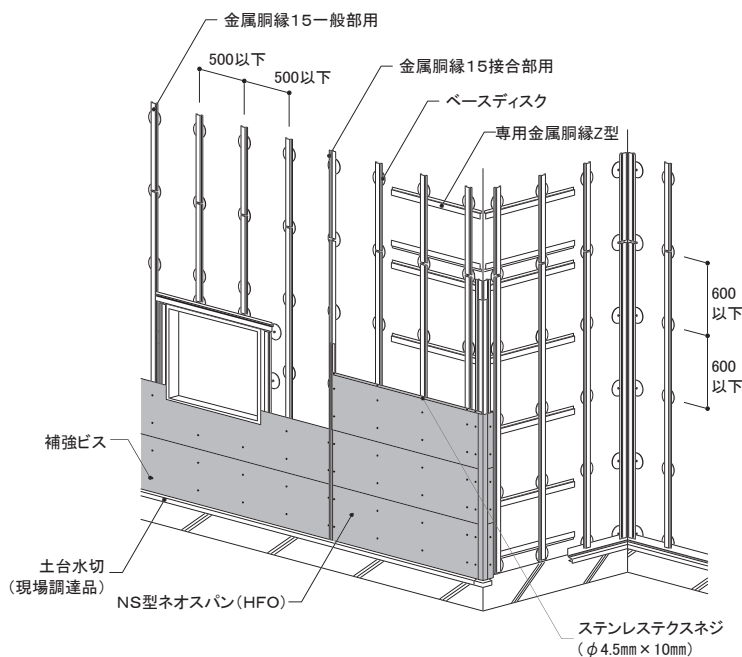
始めから張り終わりまで全て補強ビスを施工してください。

※建設地の基準風速によっては16m以下でも補強ビスが必要になります。P265の対応表をご確認ください。

補強ビス留付指定位置 ビス留めの位置は必ず遵守ください。



縦張り施工



横張り施工

外壁リフォームの設計

事前調査の方法

RC造
金属・木胴縁工法

RC造外断熱
金属胴縁工法

RC造
専用ブラケット工法

S造(ALC)
金属・木胴縁工法

RCタイル外壁への
リフォーム工法

NS型ネオスパン
補強工法

NS型ネオスパン (イソシアレート品)	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC造外断熱 金属胴縁工法	ビス	横・縦	600mm以下

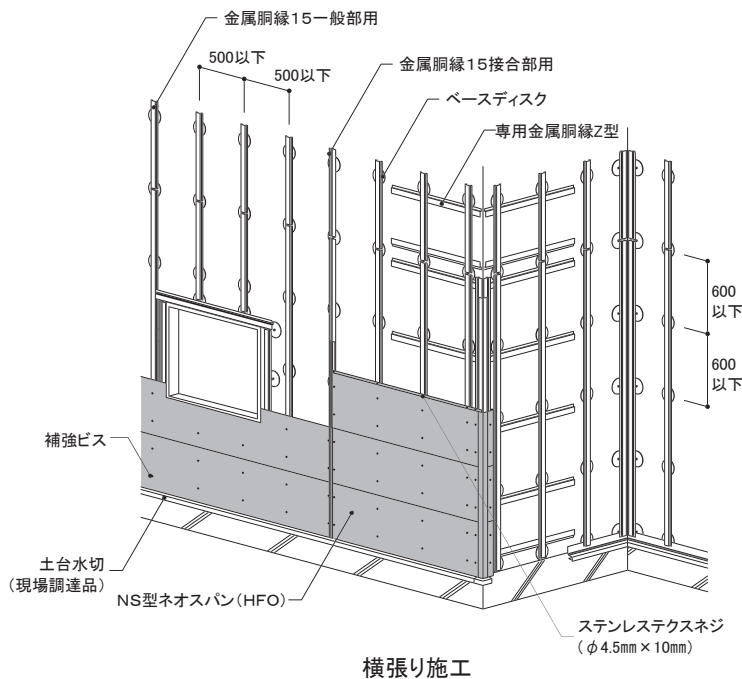
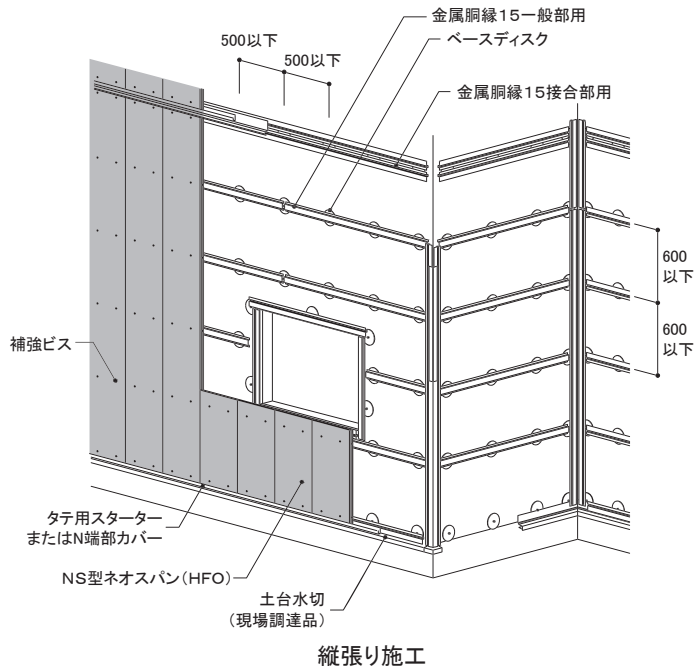
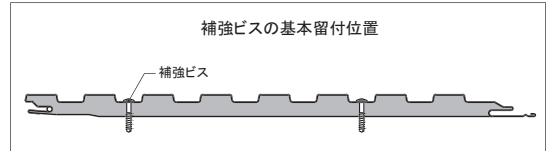
1) 基本構成図

16mを超え、30m以下の物件への施工(※)は、

●金属胴縁ごとに、嵌合部以外に表面から補強ビスを2本留め付けます。ビス留め位置は下図の通りです。

始めから張り終わりまで全て補強ビスを施工してください。

※建設地の基準風速によっては16m以下でも補強ビスが必要になります。P265の対応表をご確認ください。



外壁リフォームの設計

事前調査の方法

RC造
金属・木胴縁工法

RC造外断熱
金属胴縁工法

RC造
専用ブラケット工法

S造(ALC)
金属・木胴縁工法

RCタイル外壁への
リフォーム工法

NS型ネオスパン
補強工法

NS型ネオスパン
(イソシアレート品)

下地・工法
S造(ALC厚100mm挿入筋・ロッキング)
金属胴縁工法

留付方法
ビス

張り方向
横・縦

胴縁組
606mm以下

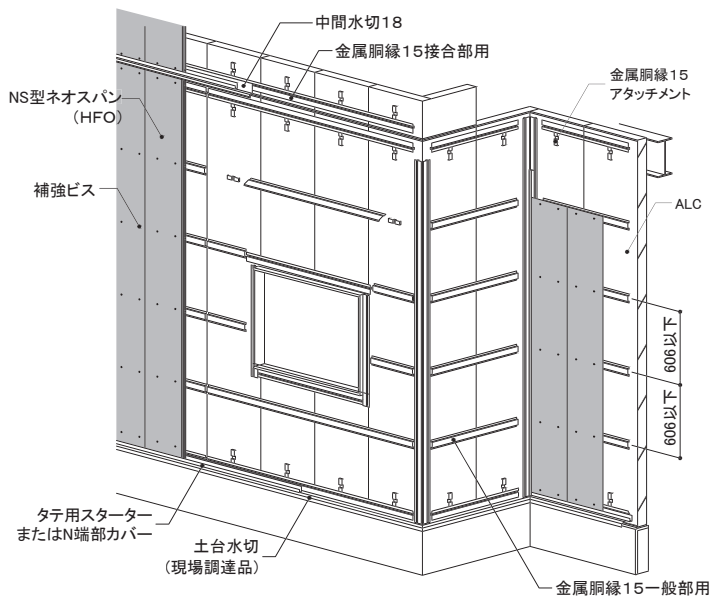
1) 基本構成図 挿入筋構法 改訂のご案内

本ページ(P268)は、一部改訂のため、次ページ(P268-1)に更新しております。
最新の設計施工資料を閲覧される際は、次ページをご確認ください。

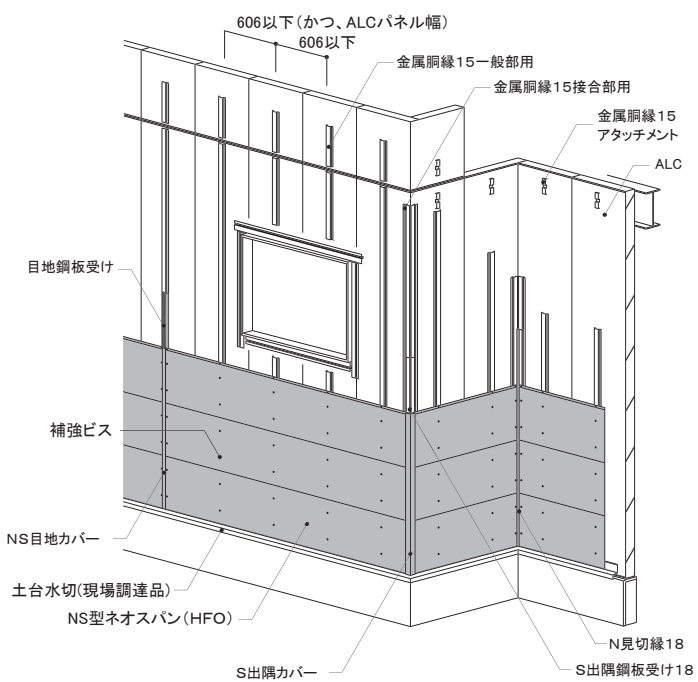
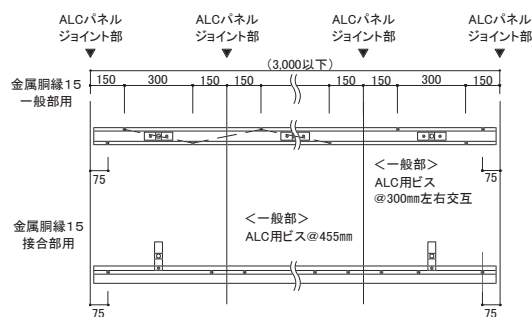
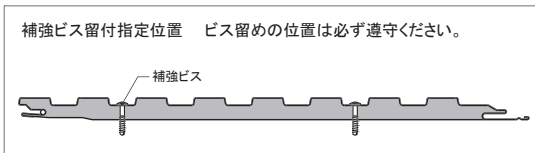
16mを超え、30m以下の物件への施工(※)は、

- 金属胴縁ごとに、嵌合部以外に表面から補強ビスを2本留め付けます。ビス留め位置は下図の通りです。
始めから張り終わりまで全て補強ビスを施工してください。

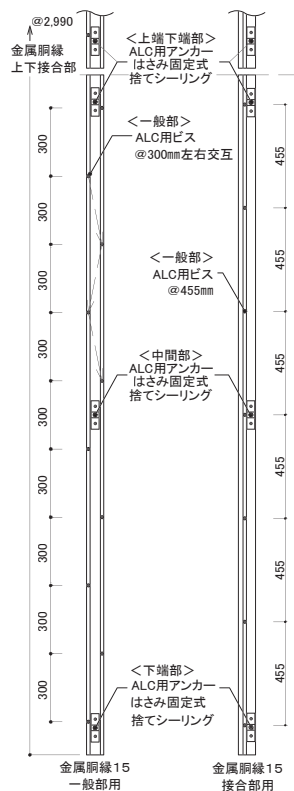
※建設地の基準風速によっては16m以下でも補強ビスが必要になります。P265の対応表をご確認ください。



縦張り施工



横張り施工



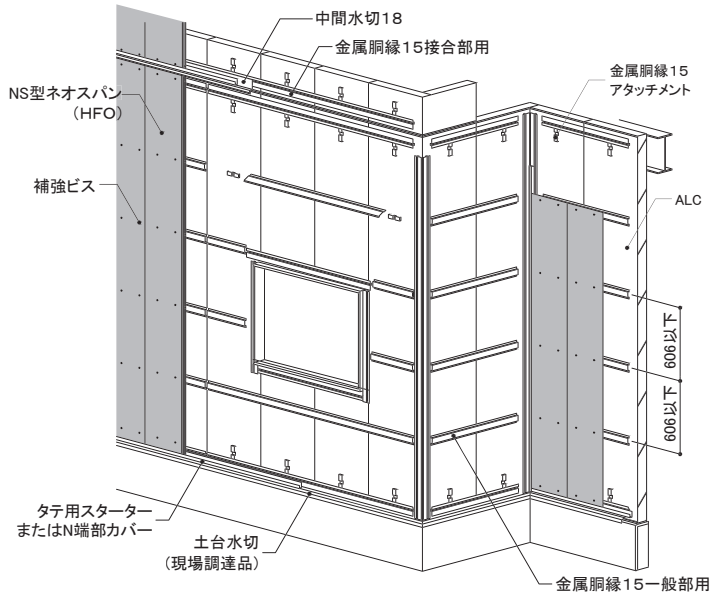
NS型ネオスパン (イソシアレート品)	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋・ロッキング) 金属胴縁工法	ビス	横・縦	606mm以下

1) 基本構成図

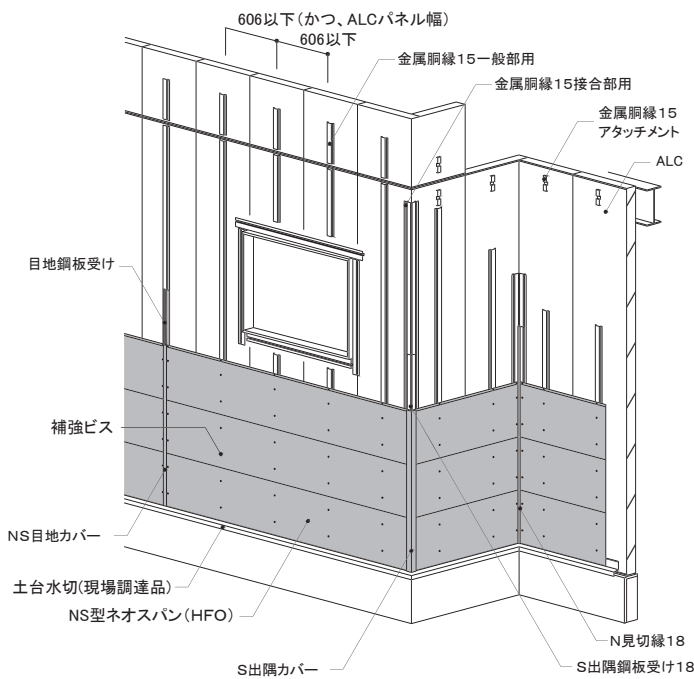
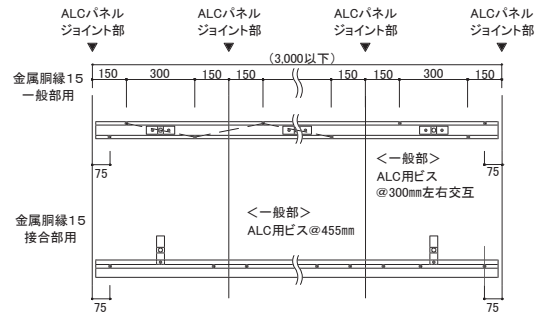
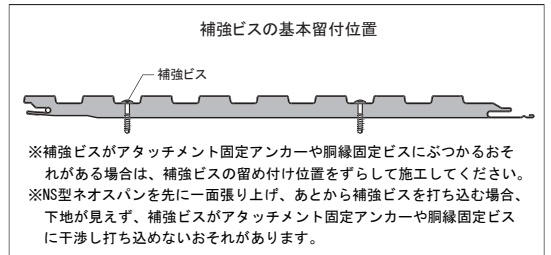
挿入筋構法

16mを超え、30m以下の物件への施工(※)は、

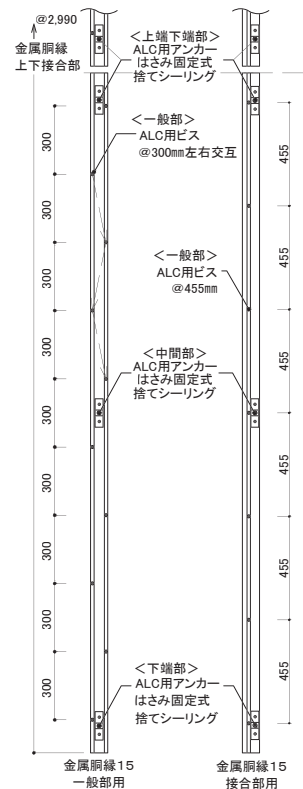
- NS型ネオスパンは一枚ずつ、下地を確認しながら補強ビスまで施工してください。
 - 金属胴縁ごとに、嵌合部以外に表面から補強ビスを2本留め付けます。ビス留め位置は下図の通りです。始めから張り終わりまで全て補強ビスを施工してください。
- ※建設地の基準風速によっては16m以下でも補強ビスが必要になります。P265の対応表をご確認ください。



縦張り施工



横張り施工



外壁リフォームの設計

事前調査の方法

RC造
金属・木胴縁工法

RC造外断熱
金属胴縁工法

RC造
専用ブラケット工法

S造(ALC)
金属・木胴縁工法

RCタイロ外壁への
リフォーム工法

NS型ネオスパン
補強工法

NS型ネオスパン (イソシアレート品)	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋・ロッキング) 金属胴縁工法	ビス	横・縦	606mm以下

2) 基本構成図 ロッキング構法 改訂のご案内

本ページ(P269)は、一部改訂のため、次ページ(P269-1)に更新しております。
最新の設計施工資料を閲覧される際は、次ページをご確認ください。

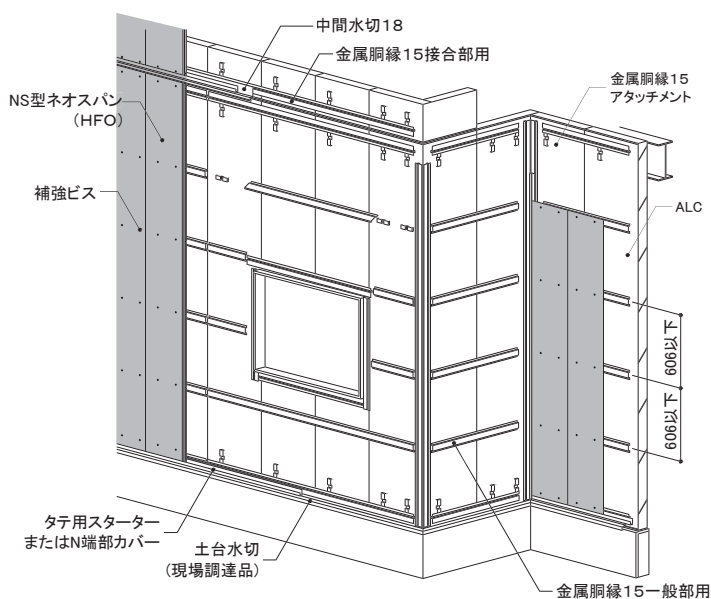
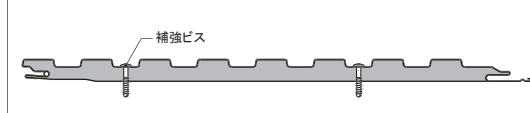
16mを超え、30m以下の物件への施工(※)は、

●金属胴縁ごとに、嵌合部以外に表面から補強ビスを2本留め付けます。ビス留め位置は下図の通りです。

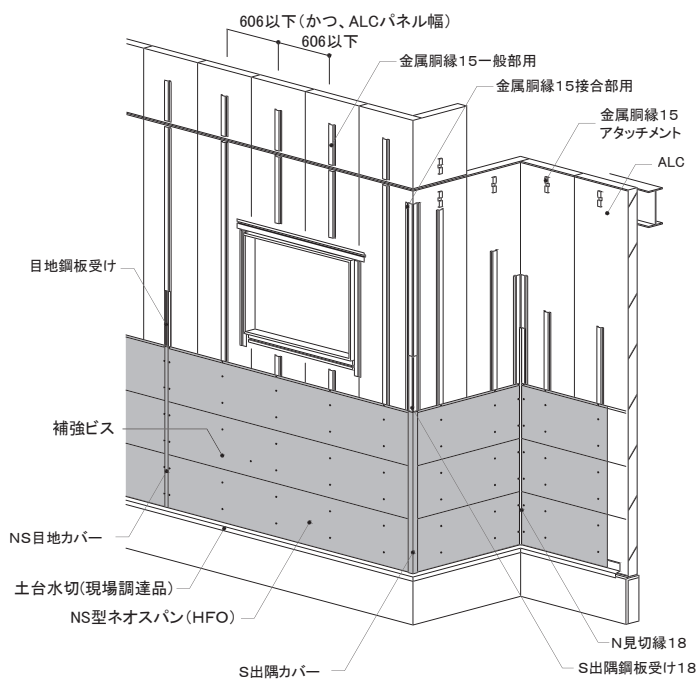
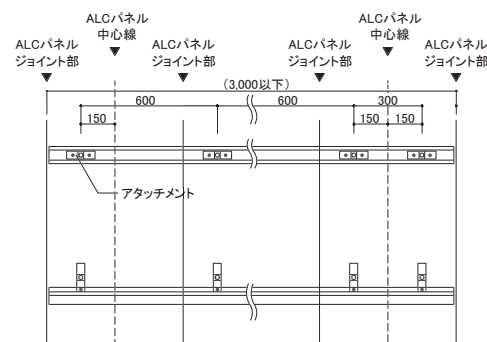
始めから張り終わりまで全て補強ビスを施工してください。

※建設地の基準風速によっては16m以下でも補強ビスが必要になります。P265の対応表をご確認ください。

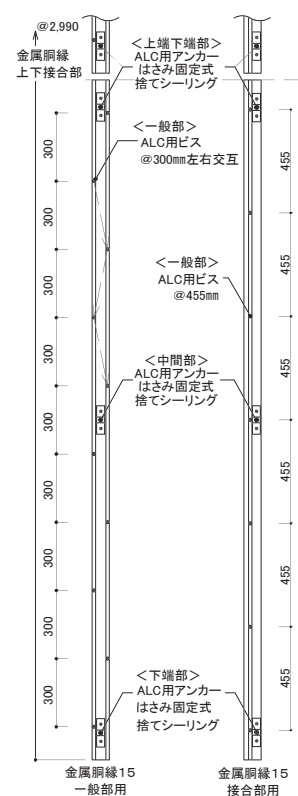
補強ビス留付指定位置 ビス留めの位置は必ず遵守ください。



縦張り施工



横張り施工



外壁リフォームの設計

事前調査の方法

RC造
金属・木胴縁工法

RC造外断熱
金属胴縁工法

RC造
専用ブラケット工法

S造(ALC)
金属・木胴縁工法

RCタイル外壁への
リフォーム工法

NS型ネオスパン
補強工法

NS型ネオスパン (イソシアレート品)	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造(ALC厚100mm挿入筋・ロッキング) 金属胴縁工法	ビス	横・縦	606mm以下

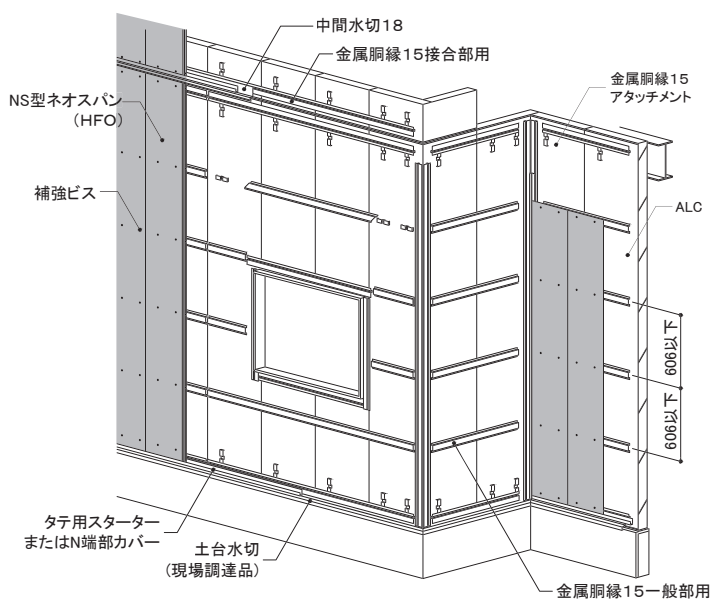
2) 基本構成図

ロッキング構法

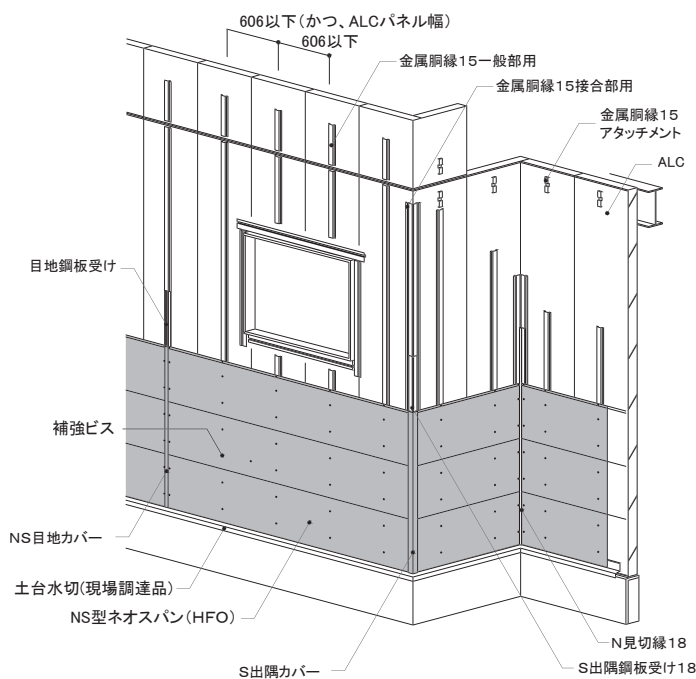
16mを超え、30m以下の物件への施工(※)は、

- NS型ネオスパンは一枚ずつ、下地を確認しながら補強ビスまで施工してください。
- 金属胴縁ごとに、嵌合部以外に表面から補強ビスを2本留め付けます。ビス留め位置は下図の通りです。始めから張り終わりまで全て補強ビスを施工してください。

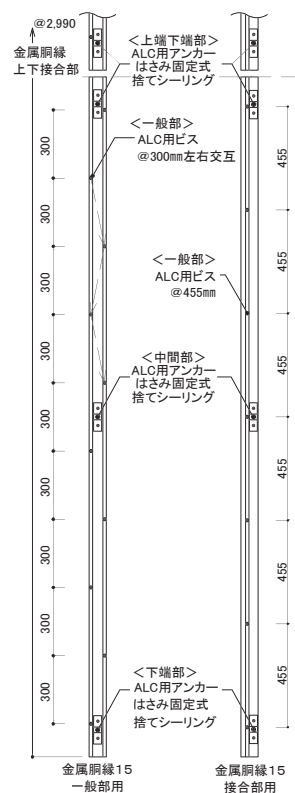
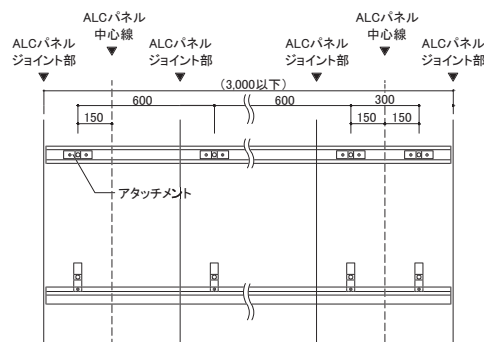
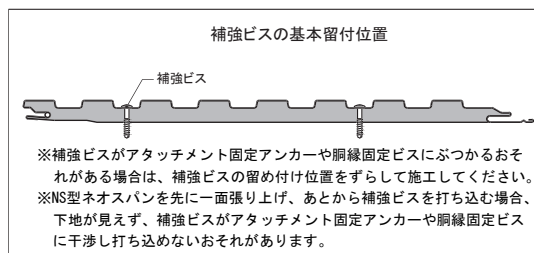
※建設地の基準風速によっては16m以下でも補強ビスが必要になります。P265の対応表をご確認ください。



縦張り施工



横張り施工



外壁リフォームの設計

事前調査の方法

RC造
金属・木胴縁工法

RC造外断熱
金属胴縁工法

RC造
専用ブラケット工法

S造(ALC)
金属・木胴縁工法

RCタイル外壁への
リフォーム工法

NS型ネオスパン
補強工法